

た。また、正字（旧字体）を作字して用いていた「葛」も、標準で正字（旧字体）を記載できるようになっている。

D 考察

平成 20 年 9 月 30 日の新基準通知発出は、旧基準発出より 30 年以上の時を経た改正であり、漢方に関連する分野においてまさにエポックメイキングな出来事であった。

平成 21 年 6 月の改正薬事法施行後は、一般用医薬品はリスクの程度に応じて第 1 類より第 3 類に分類され、薬剤師や登録販売者による適切な情報提供のもとに販売されることになり、一般用漢方製剤は一律に第 2 類に分類された。この区分は「副作用・相互作用などの項目で安全性上、注意を要するもの」、すなわち、「副作用等により日常生活に支障を来す程度の健康被害が生ずるおそれがある医薬品」が属するものである。今回の薬事法の改正は、購入者の視点に立ち、適切な一般用医薬品を選択する環境を整えることに資するものであるが、それに伴い、一般用医薬品の製造販売に際し、その有効性や安全性をいかに担保し、品質をいかに確保していくか、という問題の重要性が今後益々増大するものと思われる。旧基準の 210 処方については、現代の日本人が少なくとも 30 年の歳月を掛けて安全性を確認してきたことになるが、新規 85 処方を現代人が一般用医薬品として使用することは初めてである。旧基準 210 処方及び新規 85 処方は数百年数千年の長い臨床経験により安全性・有効性が担保されているものであるが、現代社会に対する適応は注意深く見守る必要があると思われる。また、リスク区分制定時に漢方製剤が一律に第 2 類区分とされたことも適切であるとは言い難く、現在、リスク区分の検証が進行中であり、これらの動きも注視しなければならない。

上述の通り、改正薬事法施行後に第 2 類医薬品に区分された一般用漢方処方、原則的に、薬剤師や登録販売者による適切な情報提供のもとに

販売されている。旧基準に関しては、その趣旨の徹底及び安全な治療の推進を目的として、旧基準の内容に処方解説及び参考文献情報等を加えた「一般用漢方処方の手引き」が出版されているように、新基準が発出されるにあたり、新基準及び改正新基準の内容に準拠して改訂された「改訂一般用漢方処方の手引き」及び「追補版一般用漢方処方の手引き」が出版された。一般用漢方処方の販売に携わる薬剤師及び登録販売者においては、「改訂一般用漢方処方の手引き」及び「追補版一般用漢方処方の手引き」等を参考の上、適切な判断と情報提供のもとに販売されることを期待する。

E 結論

一般用漢方処方に関する改正新基準発出に至る経緯を整理して記述した。今回の改正新基準は、旧基準 210 処方が見直された新基準に対して、「新手引き案（改訂版）」に提案された新規処方が追加収載されたものである。今回は従来処方の類方の追加であったが、さらに全く新規の処方についても追加収載が行政的に検討されている。これら新規処方を含む漢方処方製剤が市場に新たに流通することにより、一般用漢方処方をういたセルフメディケーションが、国民の健康の増進及び維持に貢献することを期待する。

F 研究発表

1 学会発表

該当無し

2 誌上発表

・「一般用漢方製剤の承認基準について」合田幸広、袴塚高志、医薬品情報学、11(4)、210-216 (2010)。

G 知的財産権の出願・登録状況

該当無し

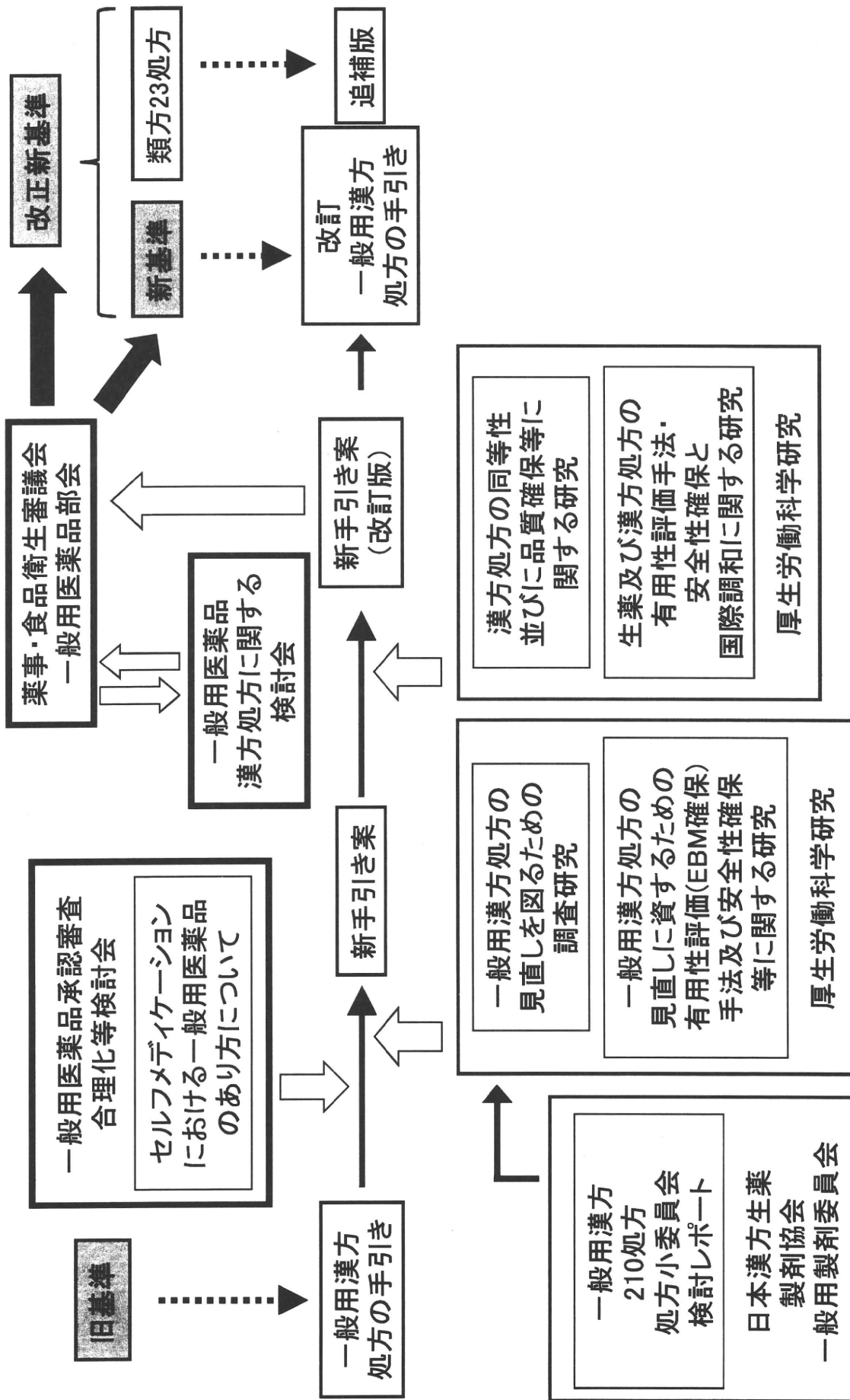


図1 一般用漢方製剤製造承認申請内規(旧基準)の見直しと一般用漢方製剤承認基準(新基準及び改正新基準)の制定

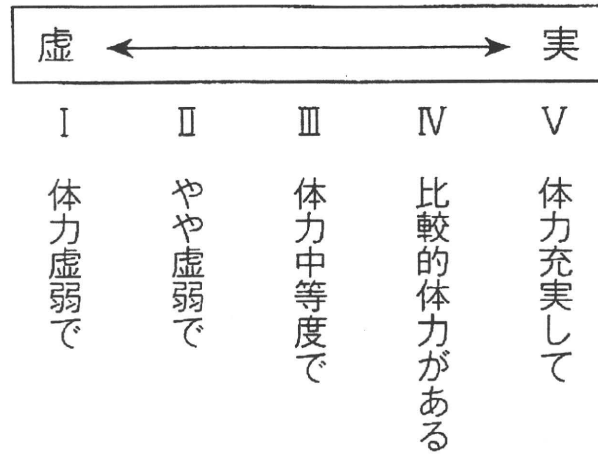


図2 虚実の概念を反映した体力分類

表1 暫定版旧基準において類方の独立等により修正を施された旧基準の処方

事由	公表当初の旧基準(206処方)における処方名	暫定版旧基準(いわゆる210処方)における処方名	加減方あるいは類方の説明
加減方の独立	芎帰調血飲	芎帰調血飲	据え置き
加減方の独立	桂枝加朮附湯	芎帰調血飲第一加減 桂枝加朮附湯	芎帰調血飲に芍薬、桃仁、紅花、枳実、桂皮、牛膝、木香、延胡索を加えたもの 据え置き
加減方の独立	茯苓飲	桂枝加芍朮附湯 茯苓飲	桂枝加朮附湯に茯苓を加えたもの 据え置き
類方の分離	分消湯	茯苓飲加半夏 分消湯 実脾飲	茯苓飲に半夏を加えたもの 据え置き 分消湯の枳実を枳殻に変えたもの

表2 新基準において名称が変更された旧基準の処方

公表当時の旧基準及び 一般用漢方処方の手引きにおける処方名	暫定旧基準(いわゆる210処方) における処方名	新基準及び改訂手引き における処方名
加味逍遙散合四物湯	加味逍遙散合四物湯	加味逍遙散加川芎地黄(加味逍遙散合四物湯)
柴朴湯	小柴胡合半夏厚朴湯(柴朴湯)	柴朴湯
小青竜湯合麻杏甘石湯	小青竜湯合麻杏甘石湯	小青竜湯加杏仁石膏(小青竜湯合麻杏甘石湯)

表3 新基準において類方の独立・統合等により修正を施された旧基準の処方

事由	公表当時の旧基準及び旧手引きにおける処方名	暫定版旧基準(いわゆる210処方)における処方名	新基準及び改訂手引きにおける処方名	加減方あるいは類方の説明
加減方の独立	安中散	安中散	安中散加茯苓	従来の安中散の処方構成
			安中散	従来の安中散より茯苓を去したものの
加減方の独立	乙字湯	乙字湯	乙字湯	据え置き
			乙字湯去大黃	乙字湯より大黃を去したものの
用法の異なる方の独立	三黃瀉心湯	三黃瀉心湯	三黃瀉心湯	据え置き
			三黃散	用法を散に変更し、分量も変更したものの
加減方の独立	大柴胡湯	大柴胡湯	大柴胡湯	据え置き
			大柴胡湯去大黃	大柴胡湯より大黃を去したものの
加減方の独立	治頭瘡一方	治頭瘡一方	治頭瘡一方	据え置き
			治頭瘡一方去大黃	治頭瘡一方から大黃を去したものの
類方の統合	逍遙散	逍遙散	逍遙散(八味逍遙散)	分量は異なるものの、構成生薬が同一であるため統合
	八味逍遙散	八味逍遙散		
類方の統合	分消湯	分消湯	分消湯(実脾飲)	枳実と枳殼の使い分けを付記して統合
		実脾飲		

表4 成分・分量における旧基準の生姜と新基準の生姜の換算式

旧基準及び「一般用漢方処方方の手引き」における表記	新基準・「改訂一般用漢方処方方の手引き」における表記
生姜○g	生姜○/3~○/4g(ヒネショウガを使用する場合は○g)
乾生姜△g	生姜△g

表5 新基準の成分・分量における構成生薬の日本薬局方に準拠した記載整備

生薬名	旧基準・旧210処方 成分・分量における用例	新基準・改訂210処方の 成分・分量において使用された 統一表記
カツコン	葛根	葛根
シヤクヤク	芍薬	芍薬
シツリシ	疾梨子, 疾梨子	疾梨子
チヨウトウコウ	釣藤, 釣藤鈎, 釣藤鈎	釣藤鈎
ウコン	鬱金, 鬱金, 宇金, うこん	鬱金
ミツロウ	ミツロウ, 蜜蝋, 黄蠟	黄蠟
キョウカツ	羌活, 羌活	羌活

表6 新基準において用法・用量に小児用法が追加された旧基準の処方

旧基準及び「一般用漢方処方の手引き」における用法・用量	該当する旧基準の処方名	新基準及び「改訂一般用漢方処方の手引き」における見直し結果
「小児不可」の指定あり	温清飲、加味逍遙散、芎歸調血飲、芎歸調血飲第一加減、牛膝散、七物降下湯、折衝飲、釣藤散、通導散、当歸散、独活葛根湯、二朮湯、女神散(安栄湯)、防風通聖散、逍遙散(八味逍遙散)	「小児不可」の指定を解除
「4歳以上に限る」の指定あり	桂枝茯苓丸、桂枝茯苓丸料加薏苡仁、甲字湯、牛車腎気丸、柴胡桂枝乾姜湯、三黄瀉心湯、三黄散、四物湯、大黃牡丹皮湯、桃核承気湯、当歸建中湯、当歸四逆湯、当歸四逆加呉茱萸生姜湯、当歸芍薬散、八味地黄丸、六味丸(六味地黄丸)	「4歳以上に限る」の指定を解除
「15歳未満に限る」の指定あり	柴胡清肝湯	「15歳未満に限る」の指定を解除

表7 各処方の体力分類に対する適応度 (1/3)

処 方 名	体力のしぼり*				
	I	II	III	IV	V
安中散	2	2	1	0	0
安中散加茯苓	2	2	1	0	0
胃風湯	1	2	1	0	0
胃苓湯	0	1	2	1	0
茵陳蒿湯	0	0	2	2	1
茵陳五苓散	1	1	1	2	1
温経湯	1	2	2	0	0
温清飲	0	1	2	1	0
温胆湯	1	2	2	1	0
延年半夏湯	0	1	2	1	0
黄耆建中湯	2	1	0	0	0
黄芩湯	0	1	2	1	0
応鐘散 (芎黄散)	0	0	1	2	1
黄連阿膠湯	1	2	1	0	0
黄連解毒湯	0	0	1	2	2
黄連湯	0	1	2	1	0
乙字湯	0	1	2	2	1
乙字湯去大黄	0	2	2	1	0
化食養脾湯	2	2	1	0	0
藿香正気散	1	2	2	1	0
葛根黄連黄芩湯	0	1	2	1	0
葛根紅花湯	0	0	1	2	1
葛根湯	0	0	2	2	1
葛根湯加川芎辛夷	0	0	2	2	0
加味温胆湯	1	2	2	1	0
加味帰脾湯	1	2	2	0	0
加味解毒湯	0	0	1	2	0
加味逍遙散	1	2	1	0	0
加味逍遙散加川芎地黄 (加味逍遙散合四物湯)	1	2	1	0	0
加味平胃散	0	1	2	1	0
乾姜人参半夏丸	1	2	1	0	0
甘草瀉心湯	0	1	2	1	0
甘草湯	2	2	2	2	2
甘麦大棗湯	1	2	1	1	0
帰耆建中湯	2	1	0	0	0
桔梗湯	2	2	2	2	2
帰脾湯	1	2	1	0	0
芎帰膠艾湯	1	2	1	0	0
芎帰調血飲	2	2	1	0	0

処 方 名	体力のしぼり*				
	I	II	III	IV	V
芎帰調血飲第一加減	1	2	2	0	0
響声破笛丸	2	2	2	2	2
杏蘇散	1	2	1	0	0
苦参湯	外用処方				
駆風解毒散 (湯)	1	1	2	2	1
荆芥連翹湯	0	0	1	2	1
鶏肝丸	2	1	0	0	0
桂枝湯	1	2	0	0	0
桂枝加黄耆湯	1	2	0	0	0
桂枝加葛根湯	1	2	1	0	0
桂枝加厚朴杏仁湯	1	2	0	0	0
桂枝加芍薬生姜人参湯	2	2	0	0	0
桂枝加芍薬大黄湯	1	2	2	0	0
桂枝加芍薬湯	1	2	1	0	0
桂枝加朮附湯	1	2	0	0	0
桂枝加竜骨牡蛎湯	1	2	1	0	0
桂枝加茶朮附湯	1	2	0	0	0
桂枝人参湯	1	2	0	0	0
桂枝茯苓丸	0	0	2	2	0
桂枝茯苓丸料加薏苡仁	0	0	2	2	0
啓脾湯	1	2	0	0	0
荆防敗毒散	0	0	2	2	0
桂麻各半湯	0	2	1	0	0
鶏鳴散加茯苓	0	1	2	1	0
堅中湯	1	2	0	0	0
甲字湯	0	0	2	2	0
香砂平胃散	0	1	2	1	0
香砂養胃湯	1	2	0	0	0
香砂六君子湯	2	2	1	0	0
香蘇散	2	1	0	0	0
厚朴生姜半夏人参甘草湯	1	2	0	0	0
五虎湯	0	0	1	2	1
牛膝散	0	0	1	2	0
五積散	0	2	2	1	0
牛車腎気丸	1	2	1	0	0
呉茱萸湯	1	2	1	0	0
五物解毒散	0	0	1	2	1
五淋散	0	1	2	1	0
五苓散	1	1	2	1	1
柴陷湯	0	0	1	2	1

表7 各処方 of 体力分類に対する適応度 (2/3)

処方名	体力のしぼり*				
	I	II	III	IV	V
柴胡加竜骨牡蛎湯	0	0	1	2	1
柴胡桂枝乾姜湯	1	2	1	0	0
柴胡桂枝湯	0	2	2	1	0
柴胡清肝湯	0	1	2	1	0
柴芍六君子湯	2	2	1	0	0
柴朴湯	0	1	2	1	0
柴苓湯	0	1	2	1	0
左突膏	外用処方				
三黄散	0	0	1	2	2
三黄瀉心湯	0	0	1	2	2
酸棗仁湯	1	2	1	0	0
三物黄芩湯	0	2	2	0	0
滋陰降火湯	1	2	0	0	0
滋陰至宝湯	1	2	0	0	0
紫雲膏	外用処方				
四逆散	0	0	2	2	1
四君子湯	2	1	0	0	0
滋血潤腸湯	1	2	1	0	0
七物降下湯	1	2	1	0	0
柿蒂湯	2	2	2	2	2
四物湯	1	2	0	0	0
炙甘草湯	1	2	1	0	0
芍薬甘草湯	2	2	2	2	2
鸕鷀菜湯 (三味鸕鷀菜湯)	1	1	1	1	1
蛇床子湯	外用処方				
十全大補湯	2	1	0	0	0
十味敗毒湯	0	1	2	1	0
潤腸湯	0	2	2	0	0
蒸眼一方	外用処方				
生姜瀉心湯	0	1	2	1	0
小建中湯	1	2	0	0	0
小柴胡湯	0	0	2	1	0
小柴胡湯加桔梗石膏	0	0	2	2	0
小承気湯	0	0	1	2	0
小青竜湯	0	2	1	0	0
小青竜湯加杏仁石膏 (小青竜湯合麻杏甘石湯)	0	1	2	1	0
小青竜湯加石膏	0	1	2	1	0
椒梅湯	1	1	1	1	1
小半夏加茯苓湯	1	2	1	1	1
消風散	0	0	2	2	1

処方名	体力のしぼり*				
	I	II	III	IV	V
升麻葛根湯	0	1	2	1	0
逍遙散 (八味逍遙散)	1	2	1	0	0
四苓湯	1	1	2	1	1
辛夷清肺湯	0	0	2	2	1
秦艽羌活湯	0	0	2	0	0
秦艽防風湯	0	0	2	0	0
参蘇飲	1	2	0	0	0
神秘湯	0	0	2	1	0
参苓白朮散	2	1	0	0	0
清肌安蛔湯	0	0	2	1	0
清湿化痰湯	1	2	2	0	0
清上瀉痛湯 (驅風触痛湯)	1	1	2	1	1
清上防風湯	0	0	2	2	1
清暑益気湯	1	2	0	0	0
清心蓮子飲	1	2	1	0	0
清肺湯	0	1	2	0	0
折衝飲	0	0	2	2	1
川芎茶調散	1	1	2	1	1
千金鷄鳴散	1	1	2	1	1
錢氏白朮散	1	2	0	0	0
疎経活血湯	0	1	2	1	0
蘇子降気湯	1	2	0	0	0
大黃甘草湯	1	1	2	1	1
大黃牡丹皮湯	0	0	1	2	2
大建中湯	2	2	0	0	0
大柴胡湯	0	0	0	1	2
大柴胡湯去大黃	0	0	1	2	1
大半夏湯	1	2	1	0	0
竹茹温胆湯	0	1	2	1	0
治打撲一方	1	1	2	1	1
治頭瘡一方	0	0	2	2	1
治頭瘡一方去大黃	1	2	1	0	0
中黄膏	外用処方				
調胃承気湯	0	1	2	1	0
丁香柿蒂湯	1	2	1	0	0
釣藤散	0	1	2	1	0
猪苓湯	1	1	2	1	1
猪苓湯合四物湯	1	1	2	1	1
通導散	0	0	1	2	2
桃核承気湯	0	0	1	2	2
当帰飲子	1	2	1	0	0

表7 各処方への体力分類に対する適応度 (3/3)

処方名	体力のしぼり*				
	I	II	III	IV	V
当帰建中湯	1	2	0	0	0
当帰散	1	2	1	0	0
当帰四逆湯	1	2	1	0	0
当帰四逆加呉茱萸生姜湯	1	2	1	0	0
当帰芍薬散	1	2	0	0	0
当帰湯	1	2	1	0	0
当帰貝母苦参丸料	1	2	1	0	0
独活葛根湯	0	2	2	0	0
独活湯	0	1	2	1	0
二朮湯	0	1	2	0	0
二陳湯	0	1	2	0	0
女神散 (安栄湯)	0	0	2	2	1
人参湯 (理中丸)	2	1	0	0	0
人参養栄湯	1	2	0	0	0
排膿散	0	0	2	1	1
排膿湯	1	1	2	0	0
麦門冬湯	1	2	2	0	0
八味地黄丸	1	2	1	0	0
半夏厚朴湯	0	1	2	1	0
半夏瀉心湯	0	1	2	1	0
半夏白朮天麻湯	1	2	1	0	0
白虎湯	0	0	2	2	1
白虎加桂枝湯	0	0	2	2	1
白虎加人参湯	0	0	2	2	1
不換金正気散	0	1	2	1	0
伏竜肝湯	1	1	1	1	1
茯苓飲	1	2	1	0	0
茯苓飲加半夏	1	2	1	0	0
茯苓飲合半夏厚朴湯	1	2	1	0	0

処方名	体力のしぼり*				
	I	II	III	IV	V
茯苓沢瀉湯	1	2	2	0	0
分消湯 (実脾飲)	0	0	1	2	1
平胃散	0	0	1	2	1
防己黄耆湯	1	2	1	0	0
防己茯苓湯	1	2	1	0	0
防風通聖散	0	0	0	1	2
補気健中湯 (補気建中湯)	1	2	0	0	0
補中益気湯	1	2	0	0	0
補肺湯	1	2	1	0	0
麻黄湯	0	0	0	2	2
麻杏甘石湯	0	0	1	2	1
麻杏薤甘湯	0	1	2	1	0
麻子仁丸	1	2	2	0	0
楊柏散	外用処方				
薤苳仁湯	0	1	2	1	0
抑肝散	0	1	1	2	0
抑肝散加陳皮半夏	0	2	1	0	0
六君子湯	2	2	1	0	0
立効散	1	1	1	1	1
竜胆瀉肝湯	0	0	1	2	1
苓姜朮甘湯	1	2	1	0	0
苓桂甘朮湯	1	2	1	0	0
苓桂朮甘湯	1	2	1	0	0
六味丸 (六味地黄丸)	1	2	1	0	0

* 表中のアラビア数字2・1・0はそれぞれ体力に対する適応度を表し、2は「最適」、1は「適応可能」、0は「原則としては適さない」を表す。また、ローマ数字I～Vは、Vを最も体力がある人、Iを最も体力がない人として、段階的に表示したものである。なお、外用処方については体力のしぼりを設けないものとした。

表8 新基準において一般用医薬品としてわかりやすいものに変更、あるいは説明を追記した効能・効果

旧基準及び「一般用漢方処方方の手引き」における効能・効果	新基準及び「改訂一般用漢方処方方の手引き」における変更あるいは説明追記
胃アトニー	胃腸虚弱
こしげ	こしげ(おりもの)
湿疹、慢性湿疹、急性湿疹、皮膚炎、くさ	湿疹・皮膚炎
胃腸カタル	胃腸炎
ノイローゼ	神経症
赤鼻、あかはな	あかはな(酒さ)
蓄膿症	蓄膿症(副鼻腔炎)
手足のあれ	手足のあれ(湿疹・皮膚炎)
小児疳症	小児疳症(神経過敏)
ふきでもの	ふきでもの(にきび)
神経質	神経過敏
精神分裂病	統合失調症
血の道症	<p>血の道症^{注)} 注)血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。 【注】表記については、効能・効果欄に記載するのではなく、(効能・効果・効果に関連する注意)として記載する。】</p>
しぶり腹	<p>しぶり腹^{注)} 注)しぶり腹とは、残便感があり、くり返し腹痛を伴う便意を催すものことである。 【注】表記については、効能・効果欄に記載するのではなく、(効能・効果・効果に関連する注意)として記載する。】</p>

表9 新基準における一般用医薬品の効能・効果として適切な表現への記載整備

旧基準及び「一般用漢方処方の手引き」 における効能・効果	新基準及び「改訂一般用漢方処方の手引き」 において整備された効能・効果
咳、咳ソウ、咳嗽	せき
痰	たん
夜なき、夜泣、夜泣き	夜泣き
風邪	かぜ
老人	高齢者
水瀉性下痢	水様性下痢
蛔虫	回虫
吐き気、吐きけ	はきけ
夏やせ	夏痩せ
ねんざ	捻挫
目まい	めまい
どうき	動悸
気管支喘息	気管支ぜんそく
声嘎れ	声かれ
痙攣	けいれん

表10 「一般用漢方処方の手引き」における正字と
「改訂一般用漢方処方の手引き」の略字・当て字の対照表

正字 (旧字体)	略字・当て字 (新字体)	正字 (旧字体)	略字・当て字 (新字体)	正字 (旧字体)	略字・当て字 (新字体)
倦	倦	瀉	瀉	辜	辜
屑	屑	虎	虎	瘞	瘞
𩇑	𩇑	孟	孟	羸	羸
愈	愈	熱	熱	泡	泡
貌	貌	輓	輓	兔	兔
榔	榔	虚	虚	囊	囊
樽	樽	搜	搜	莧	莧
溢	溢	錢	錢	函	函
灼	灼	窩	窩	葱	葱
煉	煉	竅	竅	芩	芩
煎	煎	魔	魔	苡	苡
瘦	瘦	變	變	喝	喝
蝕	蝕	寧	寧	褐	褐
飴	飴	苒	苒	眩	眩

表11 「改訂一般用漢方処方の手引き」の処方解説及び参考文献情報における記載整備

統一あるいは整備されるべき用語	改訂手引きにおける扱い
枳殻、枳殼、枳殼	枳殻に統一
水穀、水穀、水穀	水穀に統一
練蜜、煉蜜	練蜜に統一
cc、ml、mL	mLに統一
てんかん、癲癇	てんかんに統一
るいれき、癩癧	るいれきに統一
つわり、悪阻	つわりに統一
自律神経不安定症	自律神経失調症に変更
搔痒、癢痒	癢痒に統一
痔ろう、痔漏、痔瘻	痔瘻に統一
草豆蔻、草豆蔻	草豆蔻に統一
ヒョウ疽、ひょう疽、癰疽	癰疽に統一
骨髓、骨髓	骨髓に統一
胆のう、胆嚢	胆嚢に統一
ジンマシン、じんましん、蕁麻疹	蕁麻疹に統一
まひ、麻痺	麻痺に統一
塩血、溢血	溢血に統一
リウマチ、リュウマチ、リウマチス、リウマチ	リウマチに統一

表12 改正新基準追加23処方における基本処方及び類方との関係と体力分類に対する適応度(1/4)

分類番号 ^{a)}	処方番号 ^{b)}	処点名 ^{c)}	成分・分量	効能・効果	体力のしほり ^{d)}				
					I	II	III	IV	V
基本処方1	52	桂枝加黄耆湯	桂枝3-4, 芍薬3-4, 大棗3-4, 生姜1-1.5 (ヒネシヨウウガを使用する場合3-4), 甘草2, 黄耆2-3	体力虚弱なものの次の諸症: ねあせ, あせも, 湿疹・皮膚炎	1				
	11	黄耆桂枝五物湯	黄耆3, 芍薬3, 桂皮3, 生姜1.5-2 (ヒネシヨウウガを使用する場合5-6), 大棗3-4	体力中等度以下のものの次の諸症: 身体や四肢のしびれ, 顔面・口腔内のしびれ, 湿疹・皮膚炎	1				0
基本処方2	83	五苓散	沢瀉4-6, 猪苓3-4.5, 茯苓3-4.5, 蒼朮3-4.5 (白朮も可), 桂皮2-3	嘔吐, 腹痛, 頭暈, むくみなどのいすれかを伴う次の諸症: 水様性下痢, 急性胃腸炎 (しぶり腹 ^{注1)} のものには使用しないこと), 暑気あたり, 頭痛, むくみ, 二日酔	1	1		1	1
	6	茵陈五苓散	沢瀉4.5-6, 茯苓3-4.5, 猪苓3-4.5, 蒼朮3-4.5 (白朮も可), 桂皮2-3, 茵陈蒿3-4	体力中等度以上をめやすとして, のどが渇いて, 尿量が少ないものの次の諸症: 嘔吐, じんましん, 二日酔, むくみ	1	1	1		1
基本処方3	130	四苓湯	沢瀉4, 茯苓4, 蒼朮4 (白朮も可), 猪苓4	体力に關わらず使用でき, のどが渇いて水を飲んでも尿量が少なく, はきけ, 嘔吐, 腹痛, むくみなどのいすれかを伴うもの次の諸症: 暑気あたり, 急性胃腸炎, むくみ	1	1		1	1
	156	沢瀉湯	沢瀉5-6, 白朮2-3	めまい, 頭暈 《備考》体力に關わらず, 使用できる。					
基本処方4	102	四逆散	柴胡2-5, 芍薬2-4, 枳実2, 甘草1-2	体力中等度以上で, 胸腹部に重苦しさがあり, とくに不眠, 不眠などがあるもの次の諸症: 胃炎, 胃痛, 腹痛, 神経症	0	0			1
	20	解劳散	芍薬4-6, 柴胡4-6, 土別甲2-4, 枳実2-4, 甘草1.5-3, 茯苓2-3, 生姜1 (ヒネシヨウウガを使用する場合2-3), 大棗2-3	体力中等度又はやや虚弱で, 胸腹部に重苦しさがあり, とくに背中に痛みがあるもの次の諸症: 慢性的発熱, 腹痛, 胃痛	0			0	0
基本処方5	89	柴胡破肝湯	柴胡4-6, 芍薬3-4, 枳実2-3, 甘草2-3, 香附子3-4, 川芎3, 青皮2	体力中等度で, 胸腹部に重苦しさがあり, とくに頭痛や肩背がこわばるもの次の諸症: 腹痛, 側胸部痛, 神経痛	0	1			1
	107	四物湯	当帰3-5, 芍薬3-5, 川芎3-5, 地黄3-5	体力虚弱で, 冷え症で皮膚が乾燥, 色つやの悪い体質で胃腸障害のないもの次の諸症: 月経不順, 月経異常, 更年期障害, 血の道症 ^{注2)} , 冷え症, しもやけ, しみ, 貧血, 産後あるいは流産後の疲労回復	1			0	0
基本処方6	42	芍药膠艾湯	川芎3, 甘草3, 艾葉3, 当帰4-4.5, 芍薬4-4.5, 地黄5-6, 阿膠3	体力中等度以下で, 冷え症で, 出血傾向があり胃腸障害のないもの次の諸症: 痔出血, 貧血, 月経異常・月経過多・不正出血, 皮下出血	1			1	0
	30	加味四物湯	当帰2.5-3, 川芎2-3, 芍薬2-3, 地黄3, 蒼朮3 (白朮2.5も可), 黄芩1.5-2.5, 人参1.5-2.5, 牛膝1-2.5, 黄柏1.5, 五味子1-1.5, 連1.5, 知母1-1.5, 杜仲1.5-2	体力虚弱で, 血色がすぐれないもの次の諸症: 下肢の筋力低下, 神経痛, 関節の腫れや痛み				0	0
基本処方7	105	七物降下湯	当帰3-5, 芍薬3-5, 川芎3-5, 地黄3-5, 釣藤鈎3-4, 黄耆2-3, 黄柏2	体力中等度以下で, 顔色が悪くて疲れやすく, 胃腸障害のないもの次の諸症: 高血圧に伴う随伴症状 (のぼせ, 肩こり, 耳なり, 頭痛)	1			1	0
	173	当帰飲子	当帰5, 芍薬3, 川芎3, 茯苓3, 防風3, 地黄4, 荊芥1.5, 黄耆1.5, 何首烏2, 甘草1	体力中等度以下で, 冷え症で, 皮膚が乾燥するもの次の諸症: 湿疹・皮膚炎 (分泌物の少ないもの), かゆみ	1			1	0
基本処方8	109	芍薬甘草湯	芍薬3-8, 甘草3-8	体力に關わらず使用でき, 筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるもの次の諸症: こむらえり, 筋肉のけいれん, 腹痛, 腰痛					
	110	芍薬甘草附子湯	芍薬3-10, 甘草3-8, 加工ブシ ^{注3)} 0.3-1.6	体力中等度以下で, 冷えてを伴うもの次の諸症: こむらえり, 筋肉のけいれん, 胃痛, 腹痛, 腰痛, 神経痛				1	0

表12 改正新基準追加23処方における基本処方及び類方分類に対する適応度(2/4)

分類番号 ^{a)}	処方番号 ^{b)}	処方名 ^{c)}	成分・分量	効能・効果	体力のしばり ^{d)}				
					I	II	III	IV	V
類方5B	13	黄芩湯	黄芩4-9, 芍薬2-8, 甘草2-6, 大棗4-9	体力中等度で、腹痛、みぞおちのつかえがあり、ときにさむけ、発熱などがあるものの次の諸症： 下痢、胃腸炎	0	1			0
基本処方6	119	小柴胡湯	柴胡5-8, 半夏3, 5-8, 生姜1-2 (ヒネシヨウガを使用する場合3-4), 黄芩2, 5-3, 大棗2, 5-3, 人参2, 5-3, 甘草1-3	体力中等度で、ときに胸腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの次の諸症： 食欲不振、はきけ、胃炎、胃痛、胃腸虚弱、疲労感、かぜの後期の諸症状	0	0		1	0
類方6A	120	小柴胡湯加桔梗石膏	柴胡7, 半夏5, 生姜1-1.5 (ヒネシヨウガを使用する場合4), 黄芩3, 大棗3, 人参3, 甘草2, 桔梗3, 石膏10	比較的体力があり、ときに胸腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつき、のどがはれて痛むものの次の諸症： のどの痛み、扁桃炎、扁桃周囲炎	0	0			0
類方6B	91	柴蘇飲	柴胡5, 半夏5, 黄芩3, 人参3, 大棗3, 香附子4, 蘇葉1.5-3, 甘草1.5, 陳皮2, 生姜1	体力中等度で、ときに胸腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、やや神経質で気鬱傾向を認めるものの次の諸症： 耳鳴り、耳閉感	0	1			0
類方6C	84	柴龍湯	柴胡5-8, 半夏5-8, 葛根3, 大棗3, 人参2-3, 甘草1.5-3, 生姜1-1.5 (ヒネシヨウガを使用する場合3-4), 栝楼仁3, 黄連1-1.5	体力中等度以上で、ときに胸腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振で口が苦く、舌に白苔がつき、強いせきが出てたんが切れにくく、ときに胸や口の苦味があるものの次の諸症： せき、胸痛、気管支炎	0	0	1		1
類方6D	137	清肌安瀉湯	柴胡6-7, 半夏5-6, 生姜1-1.5 (ヒネシヨウガを使用する場合3-4), 人参3, 黄芩3, 甘草2, 海人草3, 姜門冬3	体力中等度で、ときに胸腹(腹)からみぞおちあたりにかけて苦しく、食欲不振や口の苦味があり、舌に白苔がつくものの次の症状： 回虫の駆除	0	0			0
基本処方7	152	大建中湯	山椒1-2, 人参2-3, 乾姜3-5, 膠飴20-64	体力虚弱で、腹が冷えて痛むものの次の諸症： 下腹部痛、腹部膨満感					0
類方7A	164	中建中湯	桂皮4, 芍薬6, 甘草2, 大棗4, 山椒2, 乾姜1, 人参3, (膠飴20を加えることもある)	体力中等度以下で、腹痛を伴うものの次の諸症： 慢性胃腸炎、下痢、便秘	1				0
基本処方8	178	当帰芍薬散	当帰3-3.9, 川芎3, 芍薬4-16, 茯苓4-5, 白朮4-5 (蒼朮も可), 沢瀉4-12	体力虚弱で、冷えて血の傾向があり疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭痛、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸などを訴えるものの次の諸症： 月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、めまい、立ちくらみ、頭痛、肩こり、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り	1				0
類方8A	181	当帰芍薬散加附子	当帰3-3.9, 沢瀉4-12, 川芎3, 加工ブシ0.4, 芍薬4-5, 茯苓4-5, 白朮4-5 (蒼朮も可)	体力虚弱で、冷えて血の傾向があり疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭痛、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸などを訴えるものの次の諸症： 月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、めまい、立ちくらみ、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り					0
類方8B	180	当帰芍薬散加人参	当帰3-3.9, 沢瀉4-12, 川芎3, 芍薬4-16, 茯苓4-5, 白朮4-5 (蒼朮も可), 人参1-3	体力虚弱で胃腸が弱く、冷えて血の傾向があり、疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭痛、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸などを訴えるものの次の諸症： 月経不順、月経異常、月経痛、更年期障害、産前産後あるいは流産による障害(貧血、疲労倦怠、めまい、むくみ)、めまい、立ちくらみ、腰痛、足腰の冷え症、しもやけ、むくみ、しみ、耳鳴り					0
類方8C	179	当帰芍薬散加黄耆芍薬	当帰3-3.9, 沢瀉4-12, 川芎3, 芍薬4-16, 茯苓4-5, 白朮4-5 (蒼朮も可), 黄耆3, 芍薬4-5	体力中等度で、血圧が高く、冷えて血の傾向があり、疲労しやすく、ときに下腹部痛、頭痛、めまい、肩こり、耳鳴り、動悸などを訴えるものの次の諸症： 高血圧の随伴症状(のぼせ、肩こり、耳鳴り、頭痛)	1				0
基本処方9	187	二陳湯	半夏5-7, 茯苓3, 5-5, 陳皮3, 5-4, 生姜1-1.5 (ヒネシヨウガを使用する場合2-3), 甘草1-2	体力中等度で、悪心、嘔吐があるものの次の諸症： 悪心、嘔吐、胃部不快感、慢性胃炎、二日酔	0	1			0

表12 改正新基準追加23処方における基本処方及び類方の関係と体力分類に対する適応度(3/4)

分類番号 ¹⁾	処方番号 ^{b)}	処方名 ^{c)}	成分・分量	効能・効果	体力のしほり ^{d)}						
					I	II	III	IV	V		
類方9A	40	枳術二陳湯	枳実1-3, 縮砂1-3, 半夏2-3, 陳皮2-3, 香附子2-3, 木香1-2, 草豆蔻1-2, 乾姜1-2, 厚朴1.5-2.5, 茴香1.5-2.5, 延胡索1.5-2.5, 甘草1, 生姜1-1.5 (ヒネシヨウガを使用する場合3), 茯苓2-3	体力中等度以下で, 胃腸が弱いものの次の諸症: 悪心, 嘔吐, 胃痛, 胃部不快感, 胸膈痛	1					0	0
			人參湯 (理中丸)	人參3, 甘草3, 白朮3 (蒼朮も可), 乾姜2-3	体力虚弱で, 疲れやすくて手足などが冷やすすいもの次の諸症: 胃腸虚弱, 下痢, 嘔吐, 胃痛, 腹痛, 急・慢性胃炎		1	0	0	0	0
類方10A	61	桂枝人參湯	桂皮4, 甘草3-4, 人參3, 乾姜2-3, 白朮3 (蒼朮も可)	体力虚弱で, 胃腸が弱く, ときに発熱・悪寒を伴うもの次の諸症: 頭痛, 動悸, 慢性胃腸炎, 胃腸虚弱, 下痢, 消化器症状を伴う感冒	1					0	0
類方10B	209	附子理中湯	人參3, 加工ブシ0.5-1, 乾姜2-3, 甘草2-3, 白朮3 (蒼朮も可)	体力虚弱で, 手足の冷えが強く, 疲れやすしいもの次の諸症: 胃腸虚弱, 下痢, 嘔吐, 胃痛, 腹痛, 急・慢性胃炎			0	0	0	0	0
基本処方11	192	排膿散及湯	桔梗3-4, 甘草3, 大棗3-6, 芍薬3, 生姜0.5-1 (ヒネシヨウガを使用する場合2-3), 枳実2-3	化膿性皮膚疾患の初期又は軽いもの, 歯肉炎, 扁桃炎 《備考》体力に関わらず, 使用できる。	1	1				1	1
			枳実3-10, 芍薬3-6, 桔梗1.5-2, 卵黄1個 (卵黄はない場合も可)	体力中等度以上で, 患部が化膿するもの次の諸症: 化膿性皮膚疾患の初期又は軽いもの, 歯肉炎, 扁桃炎 《備考》排膿散の湯液剤は排膿湯の処方と区別するため排膿散料と称する。	0	0				1	1
類方11A	191	排膿散	甘草1.5-3, 桔梗1.5-5, 生姜0.5-1 (ヒネシヨウガを使用する場合1-3), 大棗2-5-6	化膿性皮膚疾患・歯肉炎・扁桃炎の初期または軽いもの	1	1				0	0
類方11B	193	排膿湯	麦門冬8-10, 半夏5, 粳米5-10, 大棗2-3, 人參2, 甘草2	体力中等度以下で, たんが切れにくく, ときに強いきこみ, 又は咽頭の乾燥感があるもの次の諸症: からせき, 気管支炎, 気管支ぜんそく, 咽喉炎, しわがれ声	1					0	0
基本処方12	194	麦門冬湯	竹葉1.2-2, 石膏4.8-16, 半夏1.6-8, 麦門冬3.4-12, 人參0.8-3, 甘草0.6-2, 粳米2-8.5	体力虚弱で, かげが治りきらず, たんが切れにくく, ときに熱感, 強いせきこみ, 口が渇くもの次の諸症: からせき, 気管支炎, 気管支ぜんそく, 口渇, 軽い熱中症	1					0	0
類方12A	158	竹葉石膏湯	地黄5, 6-8, 山茱萸3, 3-4, 山薬3, 3-4, 沢瀉3, 3, 茯苓3, 3, 牡丹皮3, 3, 桂皮1, 1, 加工ブシ0.5-1, 0.5-1 (左側の数字は湯, 右側は散)	体力中等度以下で, 疲れやすくて, 四肢が冷やすすく, 尿量減少又は多尿で, ときに口渇があるもの次の諸症: 下腹痛, 腰痛, しびれ, 高齢者のかすみ目, かゆみ, 排尿困難, 残尿感, 夜間尿, 頻尿, むくみ, 高血圧に伴う随伴症状の改善 (肩こり, 頭痛, 耳鳴り), 軽い尿漏れ	1					1	0
基本処方13	195	八味地黄丸	地黄5-8, 山茱萸3, 3-4, 山薬3, 3-4, 沢瀉3, 3, 茯苓3, 3, 牡丹皮3, 3, 桂皮1, 1, 加工ブシ0.5-1, 0.5-1 (左側の数字は湯, 右側は散)	体力中等度以下で, 疲れやすくて, 四肢が冷やすすく尿量減少し, むくみがあり, ときに口渇があるもの次の諸症: 下腹痛, 腰痛, しびれ, 高齢者のかすみ目, かゆみ, 排尿困難, 頻尿, むくみ, 高血圧に伴う随伴症状の改善 (肩こり, 頭痛, 耳鳴り)	1					1	0
類方13A	79	牛車腎気丸	地黄5-6, 4-8, 山茱萸3, 3-4, 山薬3, 3-4, 沢瀉3, 3, 茯苓3, 3, 牡丹皮3, 3 (左側の数字は湯, 右側は散)	体力中等度以下で, 疲れやすくて, 四肢が冷やすすく尿量減少し, むくみがあり, ときに口渇があるもの次の諸症: 下腹痛, 腰痛, しびれ, 高齢者のかすみ目, かゆみ, 排尿困難, 頻尿, むくみ, 高血圧に伴う随伴症状の改善 (肩こり, 頭痛, 耳鳴り)	1					1	0
類方13B	236	六味丸 (六味地黄丸)	地黄5, 5-8, 山茱萸3, 3-4, 山薬3, 3-4, 沢瀉3, 3, 茯苓3, 3, 牡丹皮3, 3, 枸杞子4-5, 4-5, 菊花2-3, 2-3 (左側の数字は湯, 右側は散)	体力中等度以下で, 疲れやすくて尿量減少又は多尿で, ときに手足のほてり, 口渇があるもの次の諸症: 排尿困難, 残尿感, 頻尿, むくみ, かゆみ, 夜尿症, しびれ	1					1	0
類方13C	75	杞菊地黄丸	地黄5, 5-8, 山茱萸3, 3-4, 山薬3, 3-4, 沢瀉3, 3, 茯苓3, 3, 牡丹皮3, 3, 枸杞子4-5, 4-5, 菊花2-3, 2-3 (左側の数字は湯, 右側は散)	体力中等度以下で, 疲れやすくて尿量減少又は多尿で, ときに手足のほてり, 口渇があるもの次の諸症: 顔や四肢のほてり, 排尿困難, 頻尿, むくみ	1					1	0
類方13D	162	知柏地黄丸	地黄5, 5-8, 山茱萸3, 3-4, 山薬3, 3-4, 沢瀉3, 3, 茯苓3, 3, 牡丹皮3, 3, 知母3, 3, 黄柏3, 3 (左側の数字は湯, 右側は散)	体力中等度以下で, 疲れやすくて尿量減少又は多尿で, ときに手足のほてり, 口渇があるもの次の諸症: 顔や四肢のほてり, 排尿困難, 頻尿, むくみ	1					1	0
類方13E	222	味耆地黄丸	地黄5, 5-8, 山茱萸3, 3-4, 山薬3, 3-4, 沢瀉3, 3, 茯苓3, 3, 牡丹皮3, 3, 麦門冬6, 6, 五味子2, 2 (左側の数字は湯, 右側は散)	体力中等度以下で, 疲れやすくて尿量減少又は多尿で, ときに手足のほてり, 口渇があるもの次の諸症: 下腹痛, 腰痛, しびれ, 高齢者のかすみ目, かゆみ, 排尿困難, 頻尿, むくみ, 息切れ, からせき	1					1	0

表12 改正新基準追加23処方における基本処方及び類方との関係と体力分類に対する適応度(4/4)

分類番号 ^{a)}	処方番号 ^{b)}	処方名 ^{c)}	成分・分量	効能・効果	体力のしぼり ^{d)}				
					I	II	III	IV	V
基本処方14	226	抑肝散	当帰3, 釣藤鈎3, 川芎3, 白朮4 (蒼朮も可), 茯苓4, 柴胡2-5, 甘草1.5	体力中等度をめやすとして, 神経がたかぶり, 怒りやすい, イライラなどがあるものの次の諸症: 神経症, 不眠症, 小児夜泣き, 小児疝症 (神経過敏), 歯ざしり, 更年期障害, 血の道症 ^{注2)}	0	1	1	0	0
			当帰3, 釣藤鈎3, 川芎3, 白朮4 (蒼朮も可), 茯苓4, 柴胡2-5, 甘草1.5, 陳皮3, 半夏5	体力中等度をめやすとして, やや消化器が弱く, 神経がたかぶり, 怒りやすい, イライラなどがあるものの次の諸症: 神経症, 不眠症, 小児夜泣き, 小児疝症 (神経過敏), 更年期障害, 血の道症 ^{注2)} , 歯ざしり	0	1	0	0	0
類方14A	228	抑肝散加陳皮半夏	当帰3, 釣藤鈎3, 川芎3, 白朮4 (蒼朮も可), 茯苓4, 柴胡2, 甘草1.5, 芍薬4, 黄連0.8-1.5	体力中等度以上をめやすとして, 神経のたかぶりが強く, 怒りやすい, イライラなどがあるものの次の諸症: 神経症, 不眠症, 小児夜泣き, 小児疝症 (神経過敏), 歯ざしり, 更年期障害, 血の道症 ^{注2)}	0	0	0	1	1
類方14B	227	抑肝散加芍薬黄連	当帰3, 釣藤鈎3, 川芎3, 白朮4 (蒼朮も可), 茯苓4, 柴胡2, 甘草1.5, 芍薬4, 黄連0.8-1.5	体力中等度以上をめやすとして, 神経のたかぶりが強く, 怒りやすい, イライラなどがあるものの次の諸症: 神経症, 不眠症, 小児夜泣き, 小児疝症 (神経過敏), 歯ざしり, 更年期障害, 血の道症 ^{注2)}	0	0	0	1	1
基本処方15	229	六君子湯	人參2-4, 白朮3-4 (蒼朮も可), 茯苓3-4, 半夏3-4, 陳皮2-4, 大蘇2, 甘草1-1.5, 生姜0.5-1 (ヒネシヨウガを使用する場合1-2)	体力中等度以下で, 胃腸が弱く, 食欲がなく, みぞおちがつかえ, 疲れやす, 血行性で手足が冷えやすいものの次の諸症: 胃炎, 胃腸虚弱, 胃下垂, 消化不良, 食欲不振, 胃痛, 嘔吐	1	0	0	0	0
類方15A	72	香砂六君子湯	人參3-4, 白朮3-4 (蒼朮も可), 茯苓3-4, 半夏3-6, 陳皮2-3, 香附2-3, 大蘇1.5-2, 生姜0.5-1 (ヒネシヨウガを使用する場合1-2), 甘草1-1.5, 縮砂1-2, 藳香1-2	体力中等度以下で, 気が沈みがちで頭が重く, 胃腸が弱く, 食欲がなく, みぞおちがつかえ, 疲れやす, 血行性で手足が冷えやすいものの次の諸症: 胃炎, 胃腸虚弱, 胃下垂, 消化不良, 食欲不振, 胃痛, 嘔吐	1	0	0	0	0
類方15B	90	柴胡六君子湯	人參3-4, 白朮3-4 (蒼朮も可), 茯苓3-4, 半夏4, 陳皮2-3, 大蘇2, 甘草1-2, 生姜0.5-1 (ヒネシヨウガを使用する場合1-2), 柴胡3-4, 芍薬3-4	体力中等度以下で, 神経質であり, 胃腸が弱くみぞおちがつかえ, 食欲不振, 腹痛, 貧血, 冷え症の傾向のあるものの次の諸症: 胃炎, 胃腸虚弱, 胃下垂, 消化不良, 食欲不振, 胃痛, 嘔吐, 神経性胃炎	1	0	0	0	0
類方15C	21	化食養神湯	人參4, 白朮4, 茯苓4, 半夏4, 陳皮2, 大蘇2, 神麴2, 麦芽2, 山査子2, 縮砂1.5, 生姜1, 甘草1	体力中等度以下で, 胃腸が弱く, 食欲がなく, みぞおちがつかえ, 疲れやす, 血行性で手足が冷えやすいものの次の諸症: 胃炎, 胃腸虚弱, 胃下垂, 消化不良, 食欲不振, 胃痛, 嘔吐	1	0	0	0	0
類方15D	196	八解散	半夏3, 茯苓3, 陳皮3, 大蘇2, 甘草2, 厚朴6, 人參3, 藳香3, 白朮3, 生姜1 (ヒネシヨウガを使用する場合2)	体力中等度以下で, 胃腸が弱く, 食欲がなく, みぞおちがつかえ, 疲れやす, 血行性で手足が冷えやすいものの次の諸症: 胃炎, 胃腸虚弱, 胃下垂, 消化不良, 食欲不振, 胃痛, 嘔吐	1	0	0	0	0
基本処方16	234	奇桂朮甘湯	茯苓4-6, 白朮2-4 (蒼朮も可), 桂皮3-4, 甘草2-3	体力中等度以下で, めまい, ふらつきがあり, ときにのぼせや動悸があるものの次の諸症: 立ちくらみ, めまい, 頭痛, 耳鳴り, 動悸, 息切れ, 神経過敏	1	1	0	0	0
類方16A	223	明眼散	茯苓4-6, 細辛1.5-2, 桂皮3-4, 黄連1.5-2, 白朮2-4, 甘草2, 車前子2-3	体力中等度で, ときにめまい, ふらつき, 動悸があるものの次の諸症: 急・慢性結膜炎, 目の充血, 流涙 (なみだ目)	0	1	0	0	0
類方16B	171	定悸散	李根皮2, 甘草1.5-2, 茯苓4-6, 杜仲3, 桂皮3, 白朮2-3 (蒼朮も可), 呉茱萸1.5-2	体力中等度で, ときにめまい, ふらつき, のぼせがあるものの次の諸症: 動悸, 不安神経症	0	1	0	0	0
類方16C	235	連珠散	当帰3-4, 白朮2-4 (蒼朮も可), 川芎3-4, 甘草2-3, 芍薬3-4, 地黄3-4, 茯苓4-6, 桂皮3-4	体力中等度又はやや虚弱で, ときにのぼせ, ふらつきがあるものの次の諸症: 更年期障害, 立ちくらみ, めまい, 動悸, 息切れ, 貧血	0	1	0	0	0

a) 分類番号は, 厚生労働省研究報告書「新一般用漢方処方「新一般用漢方処方」(平成20年3月) において提案された基本処方と類方の組み合わせ分類に従った。すなわち, 基本処方を五十音順に並べて基本処方番号(1, 2, 3...)を振り, その基本処方の類方には枝番号(A, B, C...)を付与した。

b) 表中の処方番号は, 改正新基準における「新処方番号」に対応する。

c) 表中の処方名において, ゴシック体表記のものは新基準に収載された処方(213処方)を示す。斜字体表記のものは改正新基準において追加された処方(23処方)を示す。

d) 表中の体力のしぼりにおけるアラビア数字2・1・0は, それぞれ体力に対する適応度を表し, 2は「最適」, 1は「適応可能」, 0は「原則としては適さない」を表す。また, ローマ数字I~Vは, それぞれ, I「体力虚弱」で, II「やや虚弱」, III「体力中等度」, IV「比較的体力がある」, V「体力充実して」を表している。

注1) しぼり腹とは, 残便感があり, くり返し腹瀉を伴う便意を催すものことである。

注2) 血の道症とは, 月経, 妊娠, 産後, 更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。